



2024年8月27日

実海域実船性能評価（OCTARVIA）プロジェクト フェーズ2
成果報告会

OCTARVIA会議の活動

成果普及・国際標準化WGリーダー

株式会社商船三井 杉本義彦

成果普及・国際標準化WGサブリーダー

海上技術安全研究所 黒田麻利子

報告内容

1. 実施事項

- ✓ 計算プログラムに係るサポート体制整備
- ✓ クラウド上の計算プログラム利用環境の向上
- ✓ 成果の普及促進活動
- ✓ 国際標準化・基準化への対応

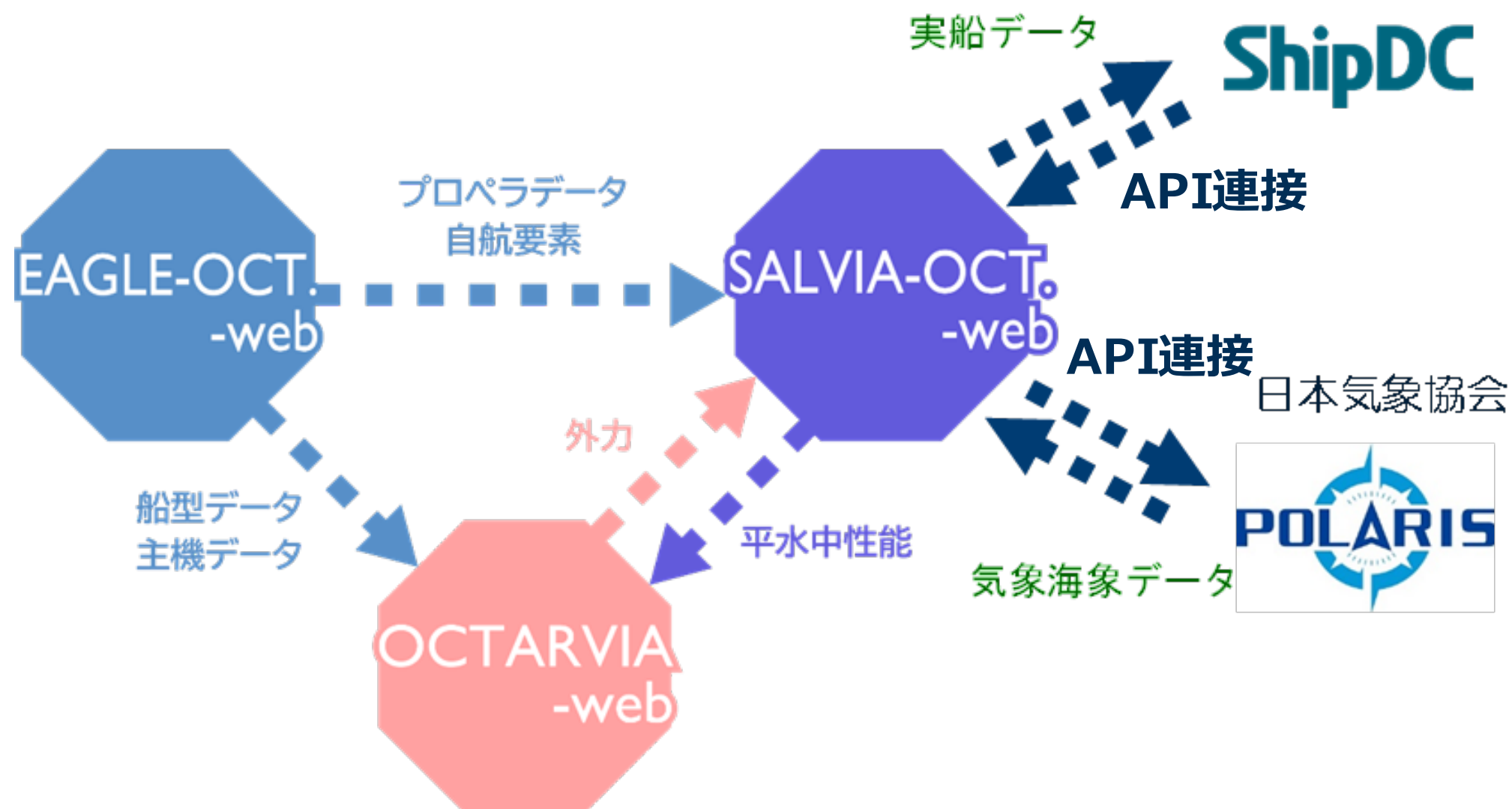
2. まとめ

実施事項

計算プログラムに係るサポート体制整備

◆ 立ち上げ

- ◆ 海技研クラウド上でクラウドアプリを公開
- ◆ OCTARVIA 2 にて、外部データ（実船モニタリングデータ、気象海象データ）との接続機能が搭載され、ユーザーの利便性が向上した

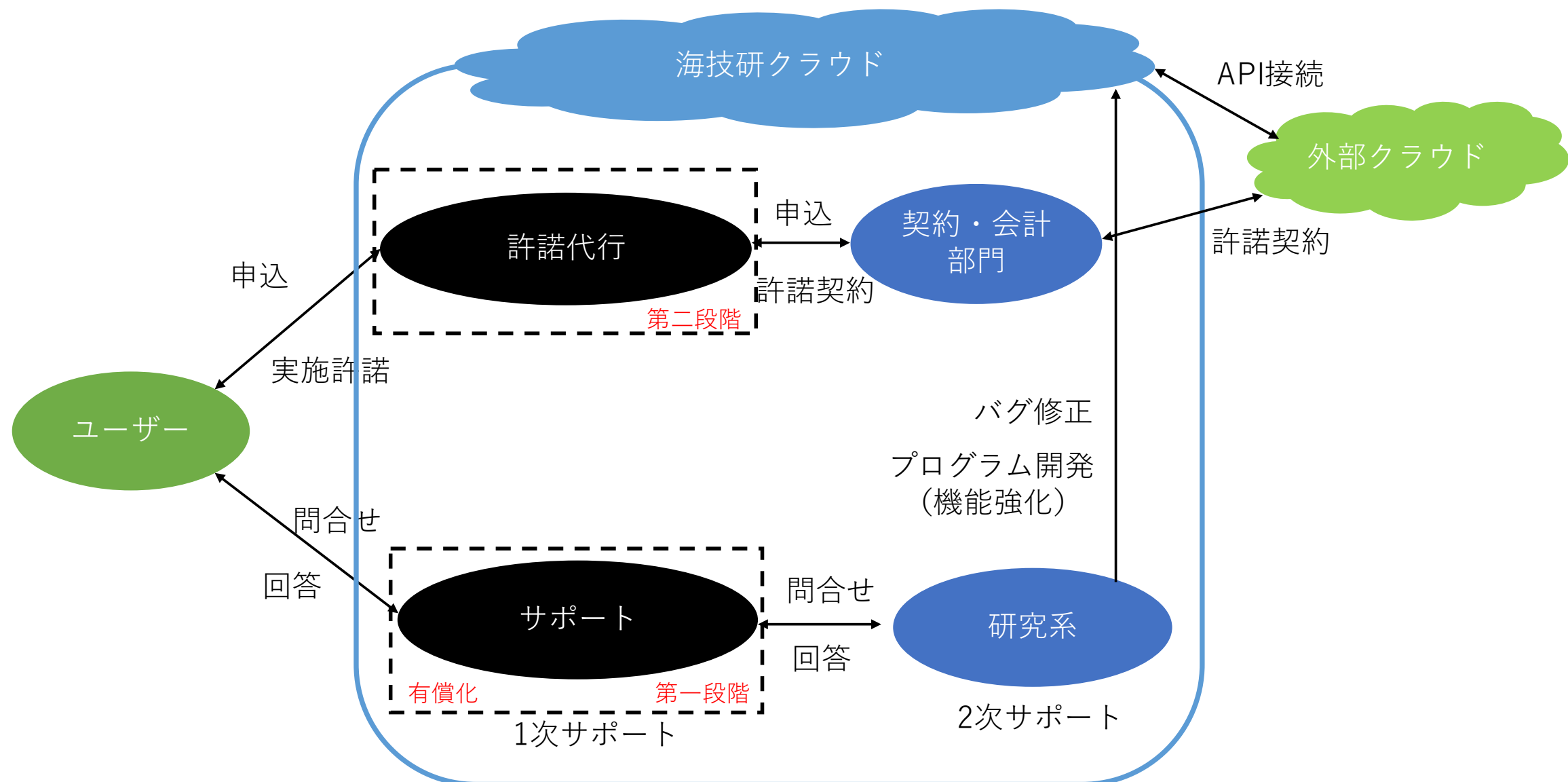


実施事項

計算プログラムに係るサポート体制整備

◆ サポート体制の構築

目的 普及のためユーザーが利用しやすい環境（ユーザーサポートの構築）とすること



実施事項

計算プログラムに係るサポート体制整備

◆ 1次サポート外部委託の試行

具体的な問い合わせを基にQ&Aを作成し、海技研クラウド上に公開し、ユーザーの使いやすさを向上させた

◆ アプリ紹介動画の作成

◆ 代替燃料船対応等、国際標準化に必要なアプリ改修要望をOCTARVIA2へ連絡



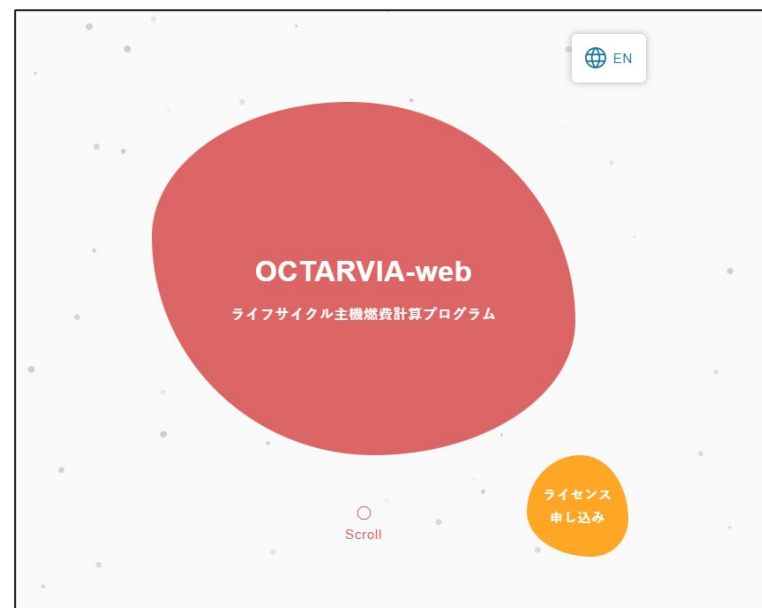
OCTARVIA-web, SALVIA-OCT.-web, EAGLE-OCT.-web Q&A	
2024年3月現在	
目次	
OCTARVIA-web に関する質問	2
web上で計算した結果を自分のPCに保存する方法が知りたい	2
グラフの書式を変更する方法が知りたい	2
【エラー】Indexモードで5速度以上で計算するとエラーが出る	2
SALVIA-OCT.-web に関する質問	3
web上で計算した結果を自分のPCに保存する方法が知りたい	3
グラフの書式を変更する方法が知りたい	3
各パラメータの入力規則が知りたい	3
【エラー】「CROW-rev05-pj19」というエラーが出る	4
【エラー】「Calculation」を押すと「filtering_V5」というエラーが出る	4
【エラー】「Calculation」ボタンを押すとdivedataのエラーが出る	4
【エラー】「There is invalid tab.」というエラー表示が出る	5
EAGLE-OCT.-web に関する質問	6
web上で計算した結果を自分のPCに保存する方法が知りたい	6
グラフの書式を変更する方法が知りたい	6
各パラメータの入力規則が知りたい	6
【エラー】「There is an invalid input.」というメッセージが出る	6
アプリ利用等の全般に関する質問	7
【エラー】「使用する」ボタンを押しても、使用できない	7
【エラー】海技研クラウドの登録画面で「同意して登録申請」ボタンがアクティブにならず、会員登録できない	7
全てのアプリに関する質問	8
個別、具体的なサポートを希望したい	8

実施事項

クラウド環境での計算プログラムの利用環境の向上

◆ 契約代行システムの実装

利用契約のペーパーレス化、料金徴収の一元化による、利用環境の向上



<https://unicus.jp/licensing/octarvia/index.html>

<https://unicus.jp/licensing/salvia/index.html>

<https://unicus.jp/licensing/eagle/index.html>



外部APIデータ利用にも対応

ライセンス申し込みフォーム

ご利用には海技研クラウドの会員登録が必要です。
会員登録は[こちら](#)。

SALVIA-OCT-webライセンス **必須**

☐ 必要 ☐ 不要

SALVIA-OCT-webライセンスをお持ちで、APIデータ使用のみ申し込み場合は、「不要」を選択して下さい。

ShipDC APIデータ使用 **必須**

☐ 必要 ☐ 不要

必要を選ぶと、ユーザ所有のShipDC Keyファイルを使用した、ShipDCの実船モニタリングデータ取得機能の利用申し込みを行います。
本APIの利用をご希望で、ShipDCからKeyファイルを取得済みの場合のみ「必要」を選択して下さい。
データをAPIにより取得すると、APIデータ利用料が発生します。

POLARIS APIデータ使用 **必須**

☐ 必要 ☐ 不要

必要を選ぶと、APIによるPOLARISの気象海象データ取得機能の利用申し込みを行います。
本APIの利用をご希望で、海技研クラウドの登録メールアドレスに紐づくユーザ情報の使用に承諾する場合のみ「必要」を選択して下さい。
POLARISへのアカウント発行依頼は海技研が行います。
データをAPIにより取得すると、APIデータ利用料が発生します。

海技研クラウドメールアドレス **必須**

海技研クラウドのメールアドレス

海技研クラウドの登録メールアドレスを入力してください

ライセンス **必須**

選択してください

ライセンス利用規約

実施事項

成果の普及促進活動

◆ アプリ活用セミナーの開催

- ◆ 外部向けセミナー（海技研）、個別セミナー（各社）の実施
- ◆ 内容：第一部（講演）及び第二部（デモ・実習）



2023年12月

実船モニタリング解析

+外部データ連接

入力支援

実海域性能推定

ライフサイクル主機燃費

これまでに
14社参加

実施事項

成果の普及促進活動

- ◆ プロジェクトメンバー外の利用
- ◆ 国内外で39機関

2024年8月

海外ユーザー（17機関）

船会社 5機関
造船会社(設計会社含む) 3機関
船用メーカー 1機関
船級協会 1機関
研究所 2機関
大学 4機関
その他（データ解析会社） 1機関

国内ユーザー（22機関）

船会社 4機関
造船会社(設計会社含む) 12機関
船用メーカー 1機関
気象予報会社 1機関
その他（修繕会社、PR会社等） 4機関

実施事項

国際標準化・基準化への対応

- ◆ プロジェクトで開発した標準法は多岐にわたっていることから、既存の手法へ反映するのではなく、新規ISOとして提案

実海域実船性能 (Performance of Ships in Actual Seas)

ISO/TC8/SC2
(環境分科会)

第1部：実海域性能評価法

(Part1: Evaluation method of Ship Performance in Actual Seas)

第2部：船舶のライフサイクル燃料消費量指標

(Part2: Index for Life Cycle Fuel Consumption)

OCTARVIAで作成した各種**標準手法**により構成

実海域性能標準推定法

実船モニタリング標準手法

各種推定法

(波浪中推奨水槽試験法／水槽試験解析法、推奨風洞試験法、向波中CFD計算法。風圧力CFD計算法)



2024年6月

SC2総会でのプレゼン

実施事項

国際標準化・基準化への対応

◆ 普及活動

日時	訪問先／参加学会
2023年8月28日~8月30日	HullPIC2023（イタリア）
2023年10月11日~10月13日	INT-NAM2023（トルコ）
2023年10月13日	TMS Tanker（ギリシャ）
2023年10月16日	アテネ工科大学（ギリシャ）
2023年10月19日	DNV（web会議）
2024年1月25日	SDARI（中国）
2024年1月29日	Hanwha Ocean（韓国）
2024年1月30日	Samsung Heavy Industries（韓国）
2024年1月30日	KRISO（韓国）
2024年1月31日	KLCSM（韓国）
2024年3月25日~3月27日	HullPIC2024（アイルランド）

主な意見

- 個船の性能を示す新たなアプローチとして活用できる
- 実海域性能計算手法に技術的興味がある
- ISO化に興味があるので、検討に参加したい

まとめ

- ◆ OCTARVIAプロジェクトフェーズ2 OCTARVIA会議の活動について、紹介しました
- ◆ 計算プログラムの外部利用促進、国際標準化の2つの軸で活動を実施しました
 - 契約代行システム実装による利用環境の向上
 - アプリ活用セミナーによる普及促進活動
 - OCTARVIA標準法の新規ISO化に向けた活動
- ◆ 新規ISO化により、公平で透明性のある手法による実海域性能評価が期待されます